



馬内 ひろとさん (27)

合同会社OLD NEW代表。久慈市出身。カフェイベントを経営しながら、若者支援や地域振興に取り組む。

自分が先頭に立ち モデルになりたい

何かをやりたいという目標ができ、久慈に戻り自分ができることを模索しました。ナナマルニコヒーの嵯峨さんとの出会いから地域活性に携わりたいと感じて任意団体を設立。現在は会社にして、岩手全体を盛り上げようと活動しています。



とで、子どもたちから教えてほしいと言ってもらえたり、市や保育園から仕事をいただけるようになりました。今では東京に呼ばれるようになるまで頑張るといふ思いで活動しています。最近ではオーディションで合格をいただき、自分の一番好きなアーティストのバックダンサーとして東京



で踊ることができました。
■市長 東京の方がチャンスが広がると思いますが、そこはどうですか。
■佐々木 チャンスは増えるかもしれませんが、東京には同じような人が多くいます。今回のオーディションはSNSへ投稿して応募するもので、東京では山の中で踊っていた子だね？と、岩手の子だと認知してもらえていました。久慈で頑張っていることが自分のアピールポイントになっていると思います。

点に活動しています。
■中村 久慈を選んだきっかけは、盛岡農業高等学校の先生が大芦牧場の人と同級生で、紹介されて実習に行ったことです。久慈地域には若い酪農家がたくさんいて、みんなで酪農を盛り上げていけると感じました。この地域に来れば、いろいろなことを学べたり、自分も何か活躍できたりすると思うのが理由の1つです。
■菅口 進学で地元を離れたのですが、いずれは地元の方に戻ってきたいと思っています。この地域の中心はやはり久慈市だと思うので、久慈から地域全体を盛

り上げていきたいと思ひ久慈を中心に活動しています。
■市長 皆さんやっていることは違いますが、地域をなんとかしていきたいというベースは一緒なのだと感じています。まちづくりには、まちにもっと関わっていききたいという人が増えていくことが大事になってくると思います。



岩手から頑張る姿で 夢を与えたい



佐々木 ひなたさん (21)

ダンスチームSUN LIGHT代表。久慈市出身。母が営むcafe soramameを手伝いながらダンスを指導。パフォーマーとしても活動している。



遠藤 譲一市長

挑戦している人を 応援できるまちに

■遠藤市長 新年あけましておめでとうございます。皆さんにおかれましては、気持ちを新たに新年を迎えられていると思います。久慈市最大の課題は人口減少です。原因の1つには、久慈から出た人が戻ってこないということがあります。皆さんのように久慈で頑張っている人がいれば、人の輪が広がり、久慈で挑戦しようとする人も増えてくると思います。挑戦している人たちにもっと元気が出るような、そんなまちにしたいと考えています。本日は久慈市で、さまざまに分野で挑戦している皆

さんを集まっていたいただきました。話を伺いながら、挑戦できる、選ばれるまちにするために必要なことを考えていきたいと思っています。
■馬内 カフェの経営をメインにしながら、若者支援や関係・移住人口の増加、山根地域ブランディング事業などに取り組んでいます。
■佐々木 普段はダンススクールの代表として、久慈市と野田村を拠点にダンス

レッスンを行っています。個人としても東京にいてダンスの仕事をしたり、オーディションを受けたりとパフォーマーとしても挑戦しています。
■濱端 個人向けの野球塾を経営し、指導しています。令和7年の4月からは、中学生の硬式クラブチームを立ち上げ、代表と監督を務めています。
■中村 盛岡農業高校を卒業後、令和7年の4月から久慈市の大芦牧場に就農しました。現在は週2回同校に通って酪農の勉強をしながら、大芦牧場で働いています。
■菅口 市職員として市の広報を担当しています。個人としては大学生から漫才を続けていて、イベントで披露したりM-1グランプリへ挑戦したりしています。
■市長 久慈市で挑戦をされている理由についてお聞かせください。
■馬内 地元で自分発信で